



### 季節に学ぶ

校長 早川 修一

大寒の2日後に大雪が降り、22日の午後から夜にかけて交通機関が大幅に乱れ、ご苦労された方もたくさんいらっしゃったことと思います。23日の朝は子供たちの登校を心配しましたが、登校に付き添ってくださる保護者の方も多く、安全に登校することができました。ご協力ありがとうございました。また、子供たちの登校の安全を考えて朝早くから道路の雪かきをしてくださった地域の皆様にも感謝申し上げます。

23日は、1・2年生が2校時に生活科の学習の一環として雪遊びを体験し、中休みには全学年が雪遊びを楽しみました。校庭一面に積もった雪で思い思いに遊ぶ子供たちの姿は、見ていて微笑ましくなりました。その後冷え込みが続き、校庭の雪も固い氷となり、校庭で遊ぶことがすっかりできなくなってしまいました。こうなると、早く暖かさが来ないかと心待ちになります。間もなく節分、そして立春。体育館前の白梅もたくさんの花を咲かせ、近づく春を感じさせてくれています。

子供たちの学習内容には、季節に関わるものがたくさん含まれています。1年生の生活科では「ふゆとともにだちになろう」、2年生の国語で「冬がいっぱい」、3年生も国語で「冬の楽しみ」、4年生の理科では「季節と生き物(冬)」、5年生の国語で「わらぐつの中の神様」、6年生は国語で「季節の言葉 冬」、家庭科で「冬の過ごし方」、この他にも音楽では「冬げしき」「スキーの歌」など、この季節に関係のある学習はたくさんあります。季節の移り変わりを肌で感じ、学びを深めていってほしいと願っています。

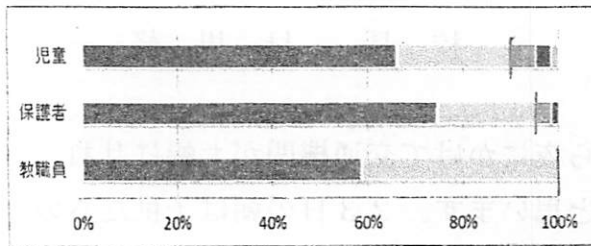
1月の全校朝会では、子供たちに、寒い冬を健康で乗り切るため、よく食べ、よく眠り、よく運動するよう話をしました。自分の体を健康に保てるようにすることも、とても大事な学習です。先週長縄集会が行われる予定で、先々週末までは休み時間にたくさんの子供たちが縄跳びや長縄の練習をしていました。残念ながら延期となりましたが、校庭が使えるようになったら、休み時間は、またきっと子供たちでいっぱいになることでしょう。

今年度子供たちが登校するのは、2月1日で残り36日となります。間もなくくる春に向けて、一段と大きく成長し、よい学年のしめくくりができるよう、子供たちを育ててまいります。

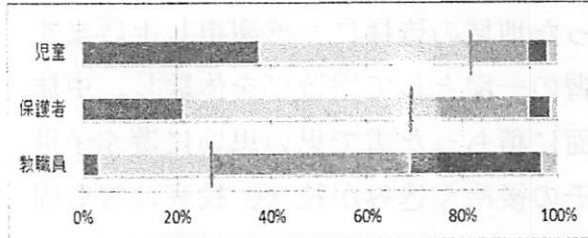
## 平成 29 年度 練馬区立向山小学校 学校評価アンケート結果のお知らせ

学校評価アンケートにご協力いただきましてありがとうございました。今年度の調査は、平成 29 年 11 月 22 日から 12 月 1 日の間に行い、93.2%のご家庭から回答をいただきました。集計がまとまりましたので、お知らせいたします。この結果を教育活動改善のための貴重な資料とさせていただきます。なお、記述いただいたご意見に関しては、3 月号で紹介する予定です。

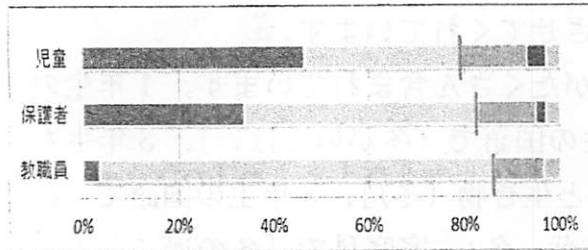
Q1. 子供は、楽しく学校に通っている。(保護者・教員向け)  
がっこうでのせいかつは、たのしい。(児童向け)



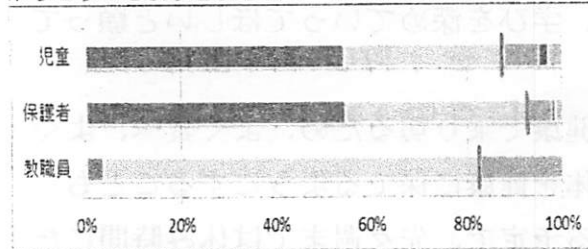
Q2. 子供は、学校や地域で進んであいさつをしている。  
がっこうやちいきで すすんであいさつをしている。



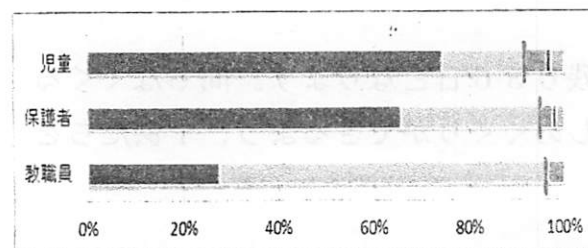
Q3. 子供は、学習に集中し落ち着いて授業に取り組んでいる。  
じゅぎょうにしゅうちゅうして おちついてとりくんでいる。



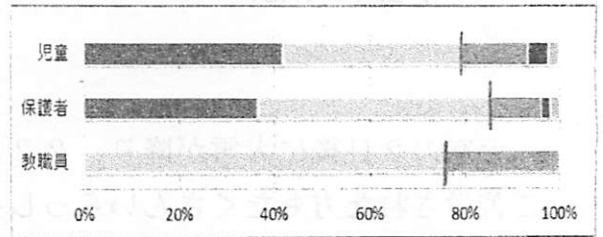
Q4. 子供は、学校生活のきまりを守り生活している。  
がっこうのきまりをまもって せいかつしている。



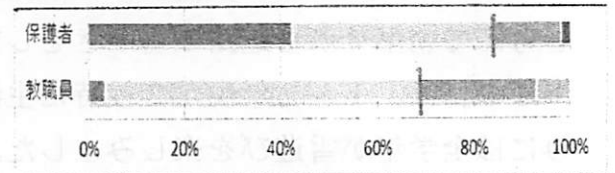
Q5. 子供は、友達と仲良く生活している。  
ともだちと なかよくせいかつしている。



Q6. 子供は、表現力やコミュニケーションの力が身に付いてきている。  
じぶんのおもいやかんがえを、せんせいやともだちに ことばでつたえている。



Q7. 子供は、「早寝・早起き・朝ご飯」等、基本的な生活習慣が定着している。



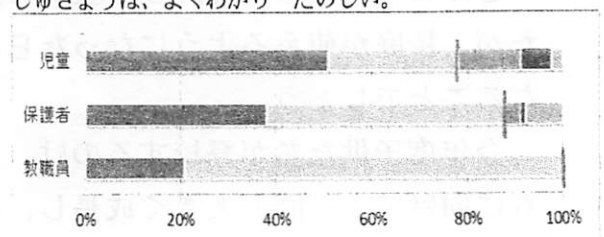
■とてもおもしろい ■すこしおもしろい ■あまりおもしろくない ■おもしろくない ■わからない

設問の上段：保護者、教職員向け  
下段：児童向け

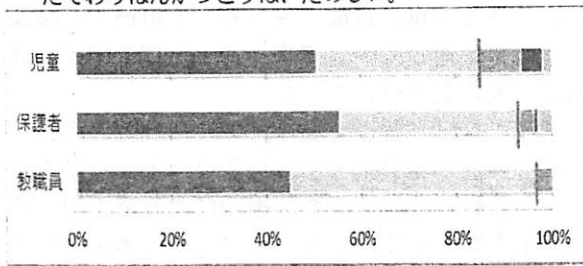
### <設問1~7の結果から>

9割の児童が「学校は楽しい」と答えています。しかし、約1割の「あまり思わない」「思わない」「分からない」と答える子供に目を向けていく必要があります。挨拶については、8割以上の児童ができていますと答えています。教職員は3割以下で、認識に大きな差があります。授業やきまりに関しては、三者とも8割以上ができていますと答えています。全体的に教職員は「とても思う」が少なく、児童に対する見方が厳しいように見えますが、「少し思う」を加えると高い割合で肯定的に捉えていることが分かります。挨拶を除いて三者に大きな違いは見られませんでした。

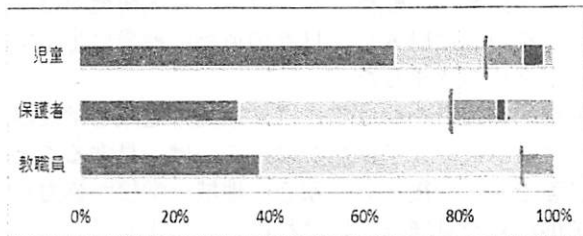
Q8. 学校は、子供に分かりやすいよう、授業を工夫している。  
じゅぎょうは、よくわかり たのしい。



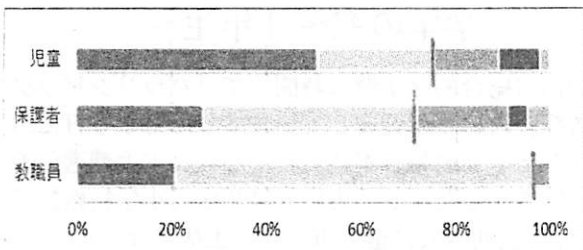
Q9. 学校は、縦割り班活動（ハッピータイム、ふれあいオリエンテーリングなど）を通して、異年齢集団の活動が充実している。  
たてわりはんかつどうは、たのしい。



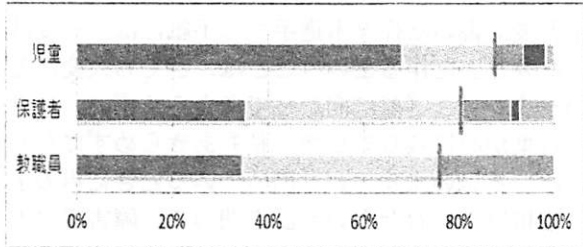
Q10. 学校は、道徳授業や読書活動等を中心に心豊かな教育を推進している。  
すすんで どころしよを している。



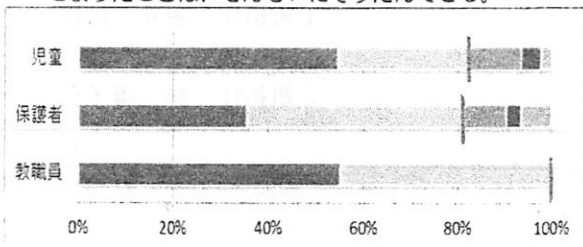
Q11. 学校は、体力向上の充実に努めている。  
そとあそびなどで たくさんうんどうしている。



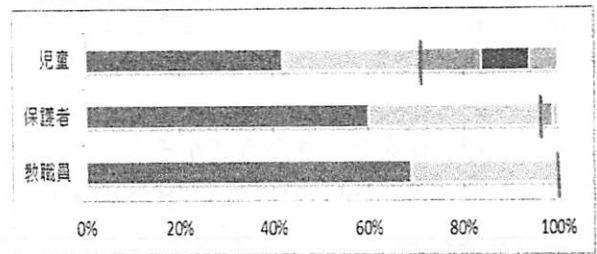
Q12. 学校は、算数の少人数指導を効果的に実施している。  
しょうにんずうさんすうのじゅぎょうは、よくわかり たのしい。



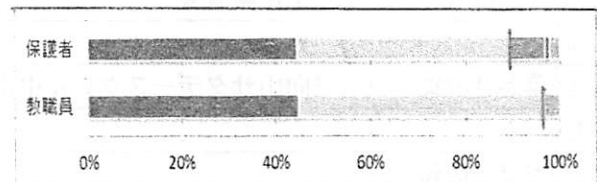
Q13. 学校は、子供や保護者の相談に適切に対応している。  
こまったことは、せんせいにそうだんできる。



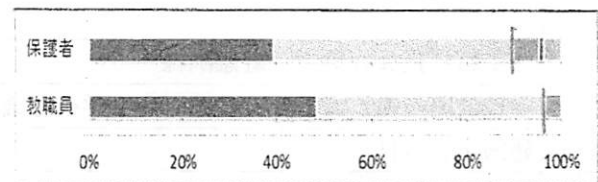
Q14. 学校は、運動会、全校遠足・移動教室、学芸会等の学校行事の充実を図っている。  
がっこうぎょうじは、どれもたのしい。



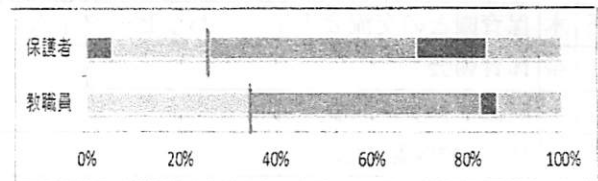
Q15. 学校は、開かれた学校づくり（学校公開・お便り・ホームページ等）を推進している。



Q16. 学校は、学習環境を整え子供の安全確保に努めている。



Q17. 小学校中学校一貫教育を開進第二中学校、南町小学校と推進しています。  
小中一貫教育への学校の取り組みを分かりやすく伝えていきますか。



■とてもおもしろい ■すこしおもしろい ■あまりおもしろくない ■おもしろくない ■わからない

＜設問8～17の結果から＞

保護者、教職員ともに評価が低いのは、小通一貫教育に関する設問です。昨年末に区から説明の文書が配られましたが、本校としても活動内容が伝わるように努めます。意外だったのは、Q14の学校行事です。児童の評価が低く、1割の子供が「思わない」と回答しています。他にも、授業の工夫、たてわり班活動、心豊かな教育、体力向上、相談対応、開かれた学校づくり、安全確保など多くの項目で、教職員の評価より児童や保護者の評価が下回っています。結果を真摯に受け止め、改善に努めていきます。

学校では、この結果を踏まえて、教育活動の改善策を検討しています。担当部会や職員会議で検討を重ね、学校評議員会の方でご意見をいただき、来年度の教育計画を作成します。来月号では、保護者の方からいただいたご意見と、改善策についてお知らせする予定です。

## 2月の目標

生活目標「寒さに負けず元気に遊びましょう。」  
あいさつ目標「できるかな？その場に合ったことば  
づかい。」

保健目標「体をたくさんうごかそう。」

給食目標「すききらいしないで食べましょう。」

## 平成30年 2月行事予定

1	木	安全指導 新1年生保護者会
2	金	
3	土	葉かげの集い (向山サタデースクール中止)
4	日	
5	月	委員会活動
6	火	幼稚園との交流会1年
7	水	長なわ集会
8	木	
9	金	たてわり長なわ集会 避難訓練
10	土	学校公開 親子情報モラル講習会 学校評議員会
11	日	建国記念の日
12	月	振替休日
13	火	クラブ見学
14	水	児童集会 教育会研究発表会のため午前授業
15	木	保育園との交流会1年 ハッピータイム
16	金	体育朝会
17	土	向山サタデースクール
18	日	PTA校外委員会
19	月	クラブ発表会
20	火	
21	水	6年生を送る会練習集会
22	木	
23	金	6年生を送る会
24	土	向山サタデースクール
25	日	
26	月	クラブ活動 年長者との交流会1年
27	火	保護者会1,2年
28	水	音楽集会 保護者会5,6年

## ◇◇◇校内研究◇◇◇

今年度の研究テーマは『かかわりを大切にし心豊かに生きる児童の育成 ～「考える道徳」「議論する道徳」を通して～』です。各学年で1回ずつ計6回の研究授業を行いました。

来年度より「学習指導要領」の一部改正に伴い、道徳は「特別の教科」という位置付けとなります。「特別の教科」といっても、担任による週1回の道徳の授業を要として、学校の教育活動全体を通して行うことは従来と変わりません。何が変わるのかというと、答えありきの道徳授業から、「考え議論する」道徳授業への転換です。今回の校内研究では、この点を中心に研究し、日々の道徳の授業に生かすように努めてきました。

道徳的実践力を伸ばすには、家庭や地域と学校が同じスタンスで、子供たちに声をかけ、見守ることが必要です。今後とも、家庭、地域、学校が協力して子供たちを見守っていただきたいと思います。

研究主任 熊井 留美

## 学年の窓～4年生～

向山（総合的な学習の時間）で「パラリンピック調査隊」という学習をしています。1月16日にパラリンピック射撃日本代表である佐々木大輔選手の話の聞きました。この方は元練馬区の小学校教員でしたが、交通事故に遭い車いすの生活になりました。夢であった小学校の先生ができなくなり、絵本作家、水泳（肩を壊し断念）、射撃、と夢に向かって挑戦し続けています。

学習後に書いた佐々木選手への手紙には「一度は失った夢をまた作るということは、とても大変だと思います。」「『夢に向かってあきらめずに。』という言葉が心に残りました。私もあきらめずにがんばりたいと思います。」「困っているときに男の子が声を掛けてくれたという話を聞いて、障害者の方が困っていたら少しでも役に立つように努力しようと思いました。」など、たくさん心が動いたことが書かれていました。

1組担任 金井 佑樹

2組担任 鈴木 真

3組担任 林 康子

## もちつき大会

### ～葉かげのつどい～

2月3日（土）11時半より、本校体育館で行われます（受付は11時から）。これは、向山小青少年委員が主催し、向山町会、向山陸会、向山小PTA、第三地区委員会、アパッチ・ソフト有志が共催して行われる行事です。毎年、事前に協力者が集まり、手順などを相談し、大根やもち米を用意して、もちつき大会に備えます。寒い中、水を使った作業は大変ですが、当日、親子でお餅をつく姿や子供たちの喜ぶ顔を思い浮かべるだけで、寒さも吹き飛ばさそうです。みなさんの参加をお待ちしております。詳細は、餅つき大会のお知らせをご覧ください。

※ 当日は餅のつき手も大募集しています。